



日本オプトロニクス協会新会長の就任に際して

株式会社ニコン 取締役 兼 専務執行役員
大村泰弘 OHMURA, Yasuhiro

この度、JOEMの2024年度定時社員総会にて会長に就任しました大村でございます。オプトロニクス産業の発展に長年貢献されてきたJOEMにおいて会長を務めさせて頂くことは、大変光栄であるとともに、責任の重大さを痛感しております。諸先輩方が蓄積された取り組みや知的資産を継承し、微力ながらも、私がこれまでに得た光学技術に関する知見や経験も踏まえ、本会の持続的な発展に貢献させて頂きたいと考えております。会員の皆様幅広いご意見とご協力を頂き、戸倉 剛副会長をはじめ、役員の皆様や事務局職員の皆様のご協力を得て、全力を尽くす所存です。ご支援を心からお願い申し上げます。

近年は、急速なテクノロジーの進化や世界情勢の変化により、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な状況にあります。数年前までは一般には知られていなかった ChatGPT 等の生成 AI 技術があっという間に世界中に展開され、広く活用されています。これらの新規技術は、今後の私たちの生活に確実に大きな影響を与えるだけでなく、技術がもたらす可能性の大きさは計り知れないと考えています。光学技術においても、これまで蓄積された知見をベースとしつつ、AI と光学の融合、メタサーフェス、ペロブスカイト太陽発電等、日々新たな発見と技術革新が生まれています。新たな取り組みが行われている光学技術の応用範囲は、映像、通信、医療、半導体、コンピューティング、エネルギー、環境科学等に至るまで広大であり、今後も更なる展開が想定されます。このような中、本会の目的は定款に記載されているように、「オプトメカトロニクスに関する調査研究、工業標準化の推進、人材の育成等を行うことにより、オプトメカトロニクス産業の振興と関連産業の高度化を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与すること」であり、重要性は増すばかりとなっています。技術革新の速さと応用範囲の広大さから、企業がそれぞれ単独で対応しきるのは困難であり、JOEMの枠組みを活用して産・官・学が連携し、スクラムを組んでいくことが光学産業界の発展には不可欠です。

今後の活動においては、蓄積された資産を確実に維持しつつ、新たな課題にも積極的に取り組む方針で、以下の2つの役割を重点的に強化していきます。

初めに、これまでもJOEMが取り組んできた最重要課題である次世代光学技術人材の育成です。JOEMでは他の団体や業界には見られない充実した教育体制が構築され、光応用技術研修会や数多くの技術講座等の機会を提供してきています。しかし、会員企業からのご意見として、光学技術の多様化や事業状況の変化に対応した体系的な教育体制の再構築、熟練技術者の退職等に対応した技術・ノウハウの伝承、人材流動化に伴う教育必要頻度の増加対応等が課題として挙げられています。これらの課題に対応していくために、会員企業、アカデミアの皆様のご協力を頂いてJOEM人材育成を効率的かつ高いレベルとなるようにすることで、光学産業の発展と持続性が確保できるようになります。

二つ目の役割は、オプトメカトロニクス産業界の発展を推進するために、JOEMの枠組みを活用して、産・官・学に横断した協力体制を強化することです。前述のように、デジタル技術を中心とした

先端技術が急速に進展する中、広範な光学技術応用領域において、最新情報を把握し続けることは、単独では困難な作業です。JOEMにおいては、これまでに構築してきた大学・研究機関も含めたネットワークを活用し、5つの技術部会を中心とした活動により、グローバルな最新情報のキャッチアップを支援しています。今後も、より実りのある情報提供を継続するため、会員企業の皆様からのご要望やフィードバックを広く頂きながら、多角的に討議を重ね、活動内容を計画していきます。また、現代の事業活動を進める上では、広い視野で社会の持続可能な発展に貢献していくことが必須となっています。国連が掲げたSDGsの開発目標に対しては各企業・団体において取り組みが行われていますが、このような社会的課題への取り組みには、まさにJOEMのような産・官・学が連携した枠組みが必要とされます。それぞれでは気づかない課題や、局所最適ではないより効果的な課題への解決策に対し、関係者の皆様の幅広い視点からのご意見を頂くことで、新たな可能性を見出していくことが可能になります。SDGs等の社会的課題に取り組むことは、産業界の発展において重要と考えています。

これらの役割を強化していく上で、会員並びに関係者の皆様お一人お一人のご協力が不可欠です。皆様のご意見やご提案を大切に、共にJOEMと産業界の未来を築いていきたいと考えております。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今後とも、何卒ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。